

パーソナルオーディオシステム

取扱説明書・保証書



無線LANでの接続や再生方法については、
別冊の「スタートガイド」をご覧ください

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ 警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。
この取扱説明書と別冊の「無線LANスタートガイド」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。





安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に一度は、ACアダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットやACアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 電源を切る
- ② ACアダプターをコンセントから抜く
- ③ ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



接触禁止



ぬれ手禁止



分解禁止

行為を指示する記号



スラグをコンセントから抜く



指示

⚠ 危険



火災

感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**死亡や大けが**の原因となります。

付属以外のACアダプターを使わない

家庭用電源で使用するときは、必ず付属のACアダプターを使用してください。

破裂や過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。



禁止

火の中に入れない



禁止

分解しない

故障や感電の原因となります。充電式電池の交換、内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご依頼ください。



禁止

火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない



禁止

⚠ 警告



火災

感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**やけどや大けが**の原因となります。

車の中で使用しない

スピーカー本体がブレーキペダルの下などに落下して、運転の妨げになり、事故やケガの原因となることがあります。



禁止

内部に水や異物を入れない

火災や感電の危険をさけるために、ACアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、ACアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火炎源を置かないでください。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

本機背面の端子に異物を入れない

端子などがショートして、誤動作や故障の原因となることがあります。



禁止

雷が鳴りだしたら、ACアダプターに触れない



接触禁止

感電の原因となります。



ぬれ手禁止

ぬれた手でACアダプターにさわらない

本体やACアダプターを布団などでおおった状態で使わない



禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

ACアダプターは抜き差ししやすいコンセントに接続する



指示

ACアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。通常、本機の電源スイッチを切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

自然放熱を妨げない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または本箱や組み込み式キャビネットのような通気が妨げられる狭いところに設置しないでください。壁や家具に密接して置いて、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



禁止

LAN端子に指定以外のネットワークや電話回線を接続しない



禁止

LAN端子に下記のネットワークや回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因となります。特に、ホームテレホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-T/100BASE-TXタイプ以外のネットワーク
- PBX(デジタル式構内交換機)回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

⚠ 注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることができます。音量は徐々に上げましょう。とくに、デジタルオーディオプレーヤーなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。



禁止

特定の状況下では、ワイヤレス機能を使用しない

本機はワイヤレス機能を内蔵しています。
以下の点に注意してご使用いただき、障害などが発生した場合には、本機のワイヤレス機能を使用しないようしてください。



禁止

また、緊急の場合には、ただちに本機の電源を切ってください。

- ・ 医院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは使用しない。
電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
- ・ 本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ただちに使用をやめる。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

通電中のACアダプターや製品に長時間ふれない



禁止

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

本機を航空機内で使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

本機を医療機器の近くで使わない

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。



禁止

本機を心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。



注意

本機を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

長時間使用しないときはACアダプターを抜く

長時間使用しないときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、ACアダプターを抜く
ACアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

付属の電源コードについて

付属の電源コードは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。



禁止

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーター やスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。



禁止

本機は、国内専用です

海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。



指示

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。



充電式電池が液漏れしたとき

充電式電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になるがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。



充電式電池について

- 火の中に入れない。分解、加熱、加圧しない。
- 火のそばや直射日光の当たるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。

本機を廃棄する

環境保護のため、リチウムイオン充電池を取り出してください。

充電池を取りはずす前に、ACアダプターを抜いて本機を充電池のみで使用して、充電池を使いきつてください。

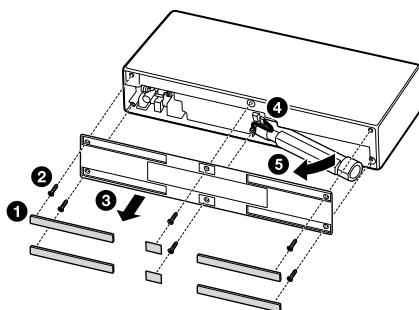


本機を廃棄するとき以外
は絶対にキャビネットを開けないでください。

1 本機の電源を切って、ACアダプターをはずす。

2 底面のカバーを取りはずし、充電池を取り出す。

- 本機底面6か所にあるゴムカバーをはずす。
- 6個のねじをはずす。
- ふたを取りはずす。
- 充電池のコネクタを本機からはずす。
- 充電池を取り出す。



ご注意

- 充電池を取り出すとき、金属製ピンセットなどでコードの被服に傷をつけないようご注意ください。
- 電池を火の中に入れたり、加熱、加圧しないでください。



日本国内での充電式電池の廃棄について



Li-ion

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人JBRCホームページ
<http://www.jbrc.com/>
を参照してください。

使用上のご注意

安全について

- 付属のACアダプターをお使いになるとときは、家庭用電源コンセント(AC100～240V)につないでお使いください。

ACアダプターについて

- ACアダプターをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、必ず電源プラグを持って抜いてください。
- ACアダプターを抜き差しする前に電源をお切りください。電源を入れたまま抜き差しすると、誤動作の原因になることがあります。
- この製品には、付属のACアダプター(極性統一形プラグ・JEITA規格)をご使用ください。付属以外のACアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
- 付属のACアダプターは本機専用です。他の機器ではご使用になれません。
- 本機およびACアダプターを本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。



CEマークは主に European Economic Area (EU) 各国など、法律に定められた国においてのみ有効です。

温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

取り扱いについて

- スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整しています。分解、改造などはしないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど、温度の高い所
 - 窓を閉め切った自動車内(特に夏季)
 - 風呂場など、湿気の多い所
 - ほこりの多い所、砂地の上
 - 時計、キヤッショカードなどの近く
(録音済みテープや時計、キヤッショカード、フロッピーディスクなどは、本機に近づけないでください。)
 - 激しい振動のある所

- 平らな場所に設置してください。
- 設置条件によっては、倒れたり落下したりすることができます。貴重品などを近くに置かないでください。
- 持ち運ぶ際、フロッピーディスクやクレジットカードなど磁気の影響を受ける物は、本機の近くに置かないでください。
- キャビネットが汚れたときは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。
- 水がかかるないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。

その他のご注意

- 長期間使用しない場合、電池の劣化を防ぐため、半年に1度充電を行ってください。
- 長い間使わなかったときは、充電時間が長くかかる場合があります。
- 高温環境下では電池保護のため、充電を停止する場合があります。
- 使用可能時間が通常の半分ぐらいに低下した場合は、充電式電池の寿命と考えられます。充電式電池の交換については、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
- LANケーブルはシールドタイプを使用してください。
- 他に疑問点や問題点がある場合は、もう一度この取扱説明書をよく読んでから、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。
- 本機を廃棄するまたは譲渡する際は、ユーザー情報などを消去するために初期化を実行して本機をお買い上げ時の状態に戻してください(22ページ)。

機銘板は、本機の底面に表示しております。

MACアドレスは、本機の底面に表示しております。

MAC1:有線LANのMACアドレス

MAC2:無線LANのMACアドレス

取扱説明書について



取扱説明書(本書)

安全のための注意事項、BLUETOOTH接続／再生方法、困ったときはなどを記載しています。



無線LANスタートガイド (別冊)

無線LANでの接続／再生方法を記載しています。



ヘルプガイド(パソコンやスマートフォンで閲覧できます)

パソコンのOSごと、BLUETOOTH機器の機種ごとの詳しい接続／再生方法や、ハイレゾ音源再生方法など、本機の詳しい使いかたを記載しています。

<http://rd1.sony.net/help/speaker/srs-x77/ja/>



商標について

- Windows、Windowsロゴ、Windows Mediaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- 本機はMicrosoft Corporationの知的所有権により保護されています。Microsoft またはその認可された子会社の許可なしにこの製品に関わる技術を使用、販売することは禁止されています。
- Apple、Appleロゴ、AirPlay、iPad、iPhone、iPod、iPod nano、iPod touch、iTunes、Mac及びOS Xは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPad Air、及びiPad miniは、Apple Inc. の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
- 「Made for iPod」「Made for iPhone」「Made for iPad」とは、それぞれiPod、iPhone、iPad専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。本製品をiPod、iPhone、又はiPadと共に使用すると、ワイヤレス機能に影響を及ぼす可能性があります。
- Wi-Fi® Wi-FiロゴはWi-Fi Allianceの認証マークです。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Protected Access® およびWi-Fi Alliance®はWi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™、WPA™、WPA2™およびWi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Alliance の商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- N-Markは米国およびその他の国におけるNFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。
- BLUETOOTHワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, INC.の所有であり、ソニー株式会社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- Google PlayとAndroidはGoogle Inc.の商標です。
- Google Cast™とGoogle CastロゴはGoogle Inc.の商標です。

- XperiaおよびXperia Tabletは、Sony Mobile Communications ABの商標です。
- "DSEE"および**DSEE**はソニー株式会社の商標です。
- "S-Master"はソニー株式会社の商標です。
- ClearAudio+及び**ClearAudio+**はソニー株式会社の商標です。
- ウォークマン®、WALKMAN®、WALKMAN®ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- LDAC™およびLDACロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- AOSS™は株式会社パッファローの商標です。
- らくらく無線スタートはNECアクセステクニカの登録商標です。
- DLNA™、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™はDigital Living Network Allianceの商標、サービスマークあるいは認証マークです。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されています。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンスに関して、内容をご一読くださいますようお願い申し上げます。

ライセンス内容は、以下のURLよりご覧ください。
<http://rd1.sony.net/help/speaker/sl/15/>



GNU GP/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれています。お客様には、添付のGPL/LGPLの条件にしたがい、これらソフトウェアのソースコードの入手、変更、再配布の権利があることをお知らせいたします。ソースコードは、Webで提供しております。ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスし、モデル名「SRS-X77」をお選びください。URL: <http://oss.sony.net/Products/Linux> なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

アップデートに関する注意

本機は、有線LANもしくは無線LANでインターネットに接続してご使用になる場合、ソフトウェアを、自動で最新にアップデート(更新)する機能を有しています。

アップデートすることで、新しい機能が追加されたり、より便利かつ安定してご使用することができます。

ソフトウェアを自動でアップデートさせたくない場合は、スマートフォン/iPhoneにインストールしたSongPalを使って、本機能を無効にすることができます。

ただし、本機能を無効にしても、安定してご使用いただくため等により、ソフトウェアを自動でアップデートすることができます。

また、本機能を無効にしても、お客様の操作で、システムソフトウェアをアップデートすることは可能です。

詳しい設定方法、操作方法は、ヘルプガイドでご確認ください。

ソフトウェアアップデート中は、本機をご使用いただけない場合があります。

第三者が提供するサービスに関する免責事項

第三者が提供するサービスは予告なく、変更・停止・終了することがあります。ソニーは、そのような事態に対しかねる責任も負いません。

目次

△警告	安全のために	2
本機を廃棄する	5	
使用上のご注意	6	
取扱説明書について	7	
商標について	7	

準備する

各部の名前と働き	10
----------------	----

SongPalについて

SongPalでできること	13
---------------------	----

BLUETOOTH接続でワイヤレスで聞く

BLUETOOTH機器をペアリング (機器登録)して音楽を聞く	14
ワンタッチで接続して音楽を聞く (NFC)	15

無線LANに接続してワイヤレスで聞く

ネットワークへの接続方法を選ぶ ...	16
パソコンから接続する	16
複数のスピーカーで同じ音楽を聞く (SongPal Link機能)	18
ミュージックサービスに接続して 音楽を聞く	18

その他の音楽を聞く

外部機器を接続して音楽を聞く.....	19
---------------------	----

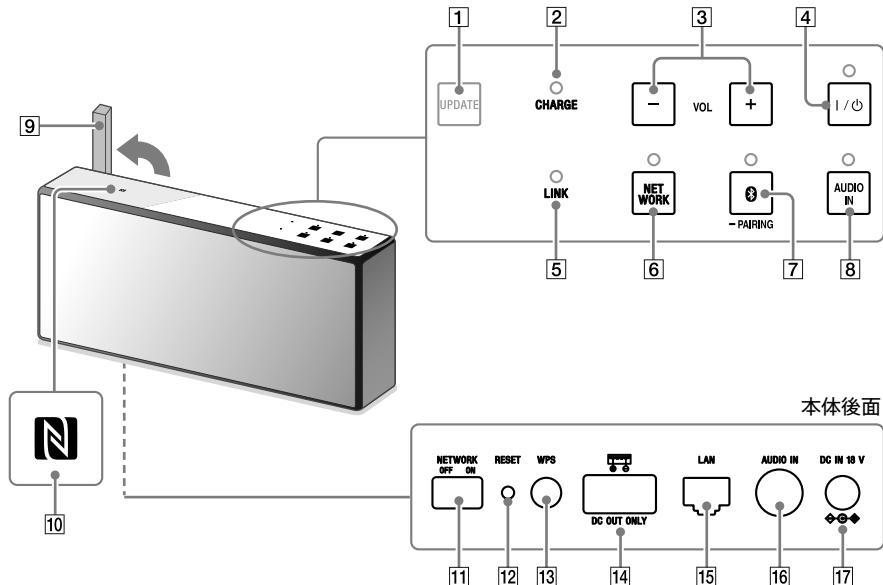
その他

困ったときは	20
無線LAN機能について	22
BLUETOOTH機器について	23

BLUETOOTH無線技術について	23
主な仕様	24
保証書とアフターサービス	26

準備する

各部の名前と働き



① UPDATEボタン

本機のアップデート状況を表示します。

② CHARGEランプ

ランプの点滅や点灯で、本機の内蔵リチウムイオン充電池の充電状態を表示します。

③ VOL(音量)-/+ボタン

音量を調節します。

ボタンにタッチすると、音量調節に応じてI/O(電源)ランプが点滅します。

④ I/O(電源)ボタン/ランプ

本機の電源を入／切します。

⑤ LINKランプ

本機のネットワーク接続状況を表示します。

⑥ NETWORKボタン/ランプ

本機をNETWORK(ネットワーク)モードに切り換えます。ミュージックサービスを利用したり、ホームネットワーク上の機器に保存した音楽を本機で聞くときにタッチしてください。

⑦ (BLUETOOTH) - PAIRING (ペアリング) ボタン/ランプ

BLUETOOTH機器とペアリング(機器登録)するときや接続するとき、BLUETOOTH機器の音楽を聞くときに使います。

1回タッチすると、本機がBLUETOOTHモードになります。タッチしたままにすると、本機がペアリングモードになります。

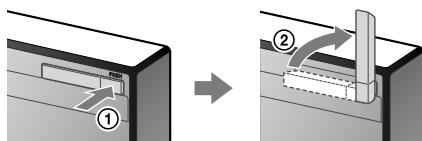
⑧ AUDIO INボタン/ランプ

AUDIO IN端子に接続した機器の音楽を聞くときにタッチしてください。ボタンにタッチすると、AUDIO INランプが点灯します。

[9] 無線LANアンテナ

本機を無線LANで使うときに立てます。

アンテナを立てるときは、以下の手順に従ってください。



- ① アンテナの右側を押す。本体の収納部よりアンテナが出来ます。
- ② アンテナを立てる。

[10] N-Mark

おサイフケータイ機能(「NFC(FeliCa)」)対応のスマートフォンなら、このマークにスマートフォンでタッチするだけで、自動的に本機の電源が入り、ペアリング(機器登録)やBLUETOOTH接続ができます。

[11] NETWORK OFF/ONスイッチ

本機のネットワーク機能をオフ／オンします。ネットワークに接続して使うときは、スイッチをONにしてお使いください。

[12] RESETボタン

本機をリセットします。

[13] WPSボタン

無線LANに接続するときに使います。WPSボタンを約2秒間押したままにすると、本機からビピッという音がして、お使いの無線LANルーターに接続できる状態になります。

お使いの無線LANルーターにWPSボタンがあるときは、このボタンを使って無線LANに接続できます。

お使いの無線LANルーターのAOSSボタンやらくらく無線スタートボタンでも、WPSボタンとして使用できる場合があります。詳しくは、お使いの無線LANルーターの取扱説明書をご覧ください。

[14] DC OUT ONLY端子(USB)

USB接続することでお持ちのスマートフォンなどの機器を充電できます。USB機器を接続して音楽を再生しても、スピーカーからは出力されません。

[15] LAN端子

市販のネットワーク(LAN)ケーブルを使って、コンピューターや無線LANルーターをつなぎます。

LANケーブルはシールドタイプを使用してください。

[16] AUDIO IN端子

接続コード(別売)を使って、ポータブルオーディオ機器などのヘッドホン端子につなぎます。

[17] DC IN 18 V端子

ACアダプター(付属)をつなぎます。

ランプが点滅・点灯しているときは**I/U(電源)ランプ**

ランプの状態(色)	本機の状態
点灯(緑)	電源が入っています。
点灯(オレンジ)	BLUETOOTH／ネットワークスタンバイモードです。BLUETOOTH／ネットワークスタンバイ機能は、本機をACアダプターでお使いのときのみ、設定することができます。充電池のみでお使いのときは、BLUETOOTH／ネットワークスタンバイモードになりません。
消灯	スタンバイモードです。
点滅(緑)	<ul style="list-style-type: none"> • 電源を切ると、緑色にゆっくり点滅した後で、オレンジ色に点灯または消灯します。ランプが点滅している間は、本機を操作できません。 • VOL(音量)-/+ボタンにタップすると、音量調節に応じて、1回または3回点滅します。
点滅(赤)	本機がプロテクトモードになっている、もしくは、ソフトウェアのアップデートに失敗しています。詳しくは、21ページの「I(電源)ランプが赤く点滅する」をご覧ください。

CHARGE(充電)ランプ

ランプの状態(色)	本機の状態
消灯	充電が完了しました。
点灯(オレンジ)	充電中です。
ゆっくり点滅(オレンジ)	充電池の電池残量が少なくなっています。本機を充電してください。また、この状態のときは、おそらく充電はできません。
3回点滅してから 消灯(オレンジ)	電源を入れたあと、ランプが3回点滅してから消灯したときは、充電池の残量がありません。本機を充電してください。

LINKランプ

ランプの状態(色)	本機の状態
点灯(オレンジ)	無線LANに接続されています。
点灯(ピンク)	有線LANに接続されています。
点滅(オレンジ)	無線LAN接続待ち状態です。
点滅(ピンク)	有線LAN接続待ち状態です。
点滅(赤)	ネットワークへの接続に失敗しました。
点灯(赤)	ネットワークへの接続に失敗した、またはネットワーク設定されているのにネットワークに接続されていません。

接続しているミュージックサービスによって、点灯・点滅するランプの色が変わります。

▶詳しくはヘルプガイドをご覧ください

<http://rd1.sony.net/help/speaker/srs-x77/ja/>



⌚(BLUETOOTH) - PAIRINGランプ

ランプの状態(色)	本機の状態
点灯(白)	BLUETOOTH機器がBLUETOOTH接続されています。
速く点滅(白)	BLUETOOTHペアリング待ち状態です。
点滅(白)	BLUETOOTH接続待ち状態です。

NETWORKランプ

ランプの状態(色)	本機の状態
点灯(白)	NETWORKモードです。
点滅(白)	ネットワーク経由で音声データを受信中のときなどに点滅します。

UPDATEボタン

ランプの状態(色)	本機の状態
点灯(オレンジ)	本機をネットワークに接続中に最新のソフトウェアを検知すると、ボタンがオレンジ色に点灯して表示されます。 点灯しているときに、ボタンをタッチしたままにすると、本機のアップデートが開始されます。
点滅(オレンジ)	<ul style="list-style-type: none">本機のソフトウェアをアップデート中です。アップデート中は本機を操作できません。アップデート完了後、本機に初めて電源を入れたときに、アップデート完了通知として3回点滅します。

SongPalについて

SongPalでできること

SongPalとは、スマートフォン／iPhoneから、SongPal対応のソニー製オーディオ機器を操作するためのアプリです。

Google Play™ (Playストア) またはApp StoreでSongPalを検索して、ダウンロードしてください。



お手持ちのスマートフォンやiPhoneにSongPalをダウンロードすると、以下のことができます。

SRS-X77のサウンド設定

好みの音質やソニーおすすめの音質「ClearAudio+」を簡単に設定できます。

ミュージックサービス*の利用

ミュージックサービスを利用するための初期設定を行います。

ミュージックサービスを利用するには、第三者者が提供するサービスアプリをご利用ください。

ホームネットワーク上の機器操作

ホームネットワーク上のパソコンやサーバーなどに保存された音楽を再生できます。

▶ 詳しい操作はヘルプガイドをご覧ください

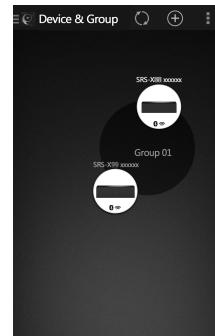
<http://rd1.sony.net/help/speaker/srs-x77/ja/>



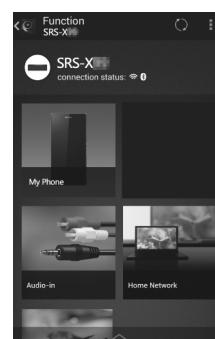
* ミュージックサービスによって、利用できる時期や契約の有無が異なります。本体のアップデートが必要な場合があります。

第三者者が提供するサービスは予告なく、変更・停止・終了することがあります。ソニーは、そのような事態に対応いかなる責任も負いません。

オーディオ機器によってSongPalができる操作は異なります。アプリの仕様および画面デザインは予告なく変更する場合があります。



ホームネットワーク上の機器の全体図を見ることができます。また、再生するオーディオ機器を選んだり、SongPal Link（マルチルーム機能）を使ってオーディオ機器をグループ化したりできます。



再生できる音源を一覧表示して、選ぶことができます。またオーディオ機器側のサウンド設定や、ネットワーク設定などができます。

▶ 詳しくはSongPalヘルプをご覧ください
<http://info.songpal.sony.net/help/>



BLUETOOTH接続でワイ ヤレスで聞く

BLUETOOTH機器をペアリ ング(機器登録)して音楽を 聞く

BLUETOOTH機器に保存された曲をワイヤレスで楽しめます。はじめに、BLUETOOTH機器を本機にペアリング(機器登録)します。

ご注意

- ペアリングするときには、本機とBLUETOOTH機器を1m以内に置いてください。
- ペアリングするときには、本機がACアダプターに接続されているか、充電池が充分に充電されている状態で行ってください。
- お使いのBLUETOOTH機器がワントッチ接続(NFC)に対応している場合は、次の手順を行う必要はありません。「ワントッチで接続して音楽を聞く(NFC)」(15ページ)をご覧ください。

1 I/O(電源)ボタンを押して、本機の電源を入れる。

I/O(電源)ランプが緑色に点灯します。

2 ⓧ(BLUETOOTH)-PAIRINGボタンを1回タッチする。

本機がBLUETOOTHモードになり、⌚(BLUETOOTH)ランプが白色に点滅します。

ちょっと一言

- ご購入後に初めてBLUETOOTH機能を使うときなど、本機にペアリング情報がない状態では、⌚(BLUETOOTH)-PAIRINGボタンにタッチしただけで、⌚(BLUETOOTH)ランプが自動的に速く点滅して、本機がペアリングモードになります。
- 近くに前回接続していたBLUETOOTH機器があるときは、⌚(BLUETOOTH)-PAIRINGボタンにタッチしただけで、自動的に本機が前回接続していた機器に接続されて、⌚(BLUETOOTH)ランプが点灯することがあります。その場合は、接続されたBLUETOOTH機器を操作して接続を切断してください。

3 ⓧ(BLUETOOTH)-PAIRINGボタンを、本機からピピッという音が聞こえるまでタッチしたままにする。

⌚(BLUETOOTH)ランプが速く点滅し始めて、本機がペアリングモードになります。

4 BLUETOOTH機器でペアリング操作を行い、本機を検索する。

BLUETOOTH機器の画面の検出した機器の一覧に[SRS-X77]と表示されます。表示されない場合は、もう一度手順1から操作してください。

5 BLUETOOTH機器の画面に表示されている[SRS-X77]を選び、互いの機器を登録する。

パスキーを要求された場合は「0000」を入力してください。

ご注意

ペアリング操作時は、BLUETOOTH機器の音楽再生を停止してください。接続完了後、本機から大音量で出力される場合があります。また、接続完了後、初回再生操作時に、大音量で出力されることがありますので、再生前に音量を下げておくことをおすすめします。

6 ⓧ(BLUETOOTH)ランプが点滅から点灯に変わったことを確認する。

⌚(BLUETOOTH)ランプが点灯したら、本機とBLUETOOTH機器が接続された状態になります。

接続されない場合は、もう一度手順3から操作してください。

7 BLUETOOTH機器側で音量を調節するか、本機のVOL(音量)-/+ボタンにタッチして、音量を調節する。

8 BLUETOOTH機器で音楽を再生する。

ちょっと一言

- BLUETOOTH接続中でも、他のBLUETOOTH機器とのペアリングや接続を行うことができます。その場合は、現在の接続は解除されます。
- SongPallにはBLUETOOTH接続による音楽再生機能はありません。BLUETOOTH機器(スマートフォンやパソコンなど)の音楽再生ソフトウェアで再生してください。

ご注意

- 一部のBLUETOOTH機器では、上記の操作に対応していない場合があります。また、機器によっては、実際の動作は異なります。
- 本機のペアリングモードは約5分で解除され、⌚(BLUETOOTH)ランプが遅い点滅に変わります。ただし、ご購入後に初めてBLUETOOTH機能を使うときなど、本機にペアリング情報がない状態では、ペアリングモードは解除されません。手順が完了する前に

- 本機のペアリングモードが解除されてしまった場合は、もう一度手順3から操作してください。
- 検出した機器の一覧が表示できないBLUETOOTH機器や、画面がない機器とペアリングするときは、本機とBLUETOOTH機器の両方をペアリングモードにしてください。BLUETOOTH機器によってはこの操作でペアリングできる場合があります。このときBLUETOOTH機器のパスキーが「0000」以外に設定されていると、本機とペアリングすることができません。
 - 一度ペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。
 - 修理を行ったなど、ペアリング情報が消去されたとき。
 - 10台以上の機器をペアリングしたとき。
本機は合計9台までのBLUETOOTH機器をペアリングすることができます。10台目のペアリングを行うと、接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が削除されます。
 - 接続相手の機器から、本機との接続履歴が削除されたとき。
 - 本機を初期化したとき。
すべてのペアリング情報が削除されます。
 - 本機は複数の機器とペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。
 - パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

BLUETOOTH接続を切断するには

BLUETOOTH機器側から接続を切断してください。

ちょっと一言

送信側BLUETOOTH機器の種類によっては、音楽の再生を終了すると、自動的にBLUETOOTH接続を切断する場合があります。

登録済みの機器の音楽を聞く

「BLUETOOTH機器をペアリングして音楽を聞く」(14ページ)の手順2の後で、BLUETOOTH機器を操作して本機と接続し、BLUETOOTH機器の音量を調節してから、再生してください。

ちょっと一言

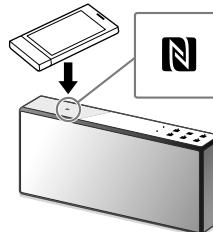
BLUETOOTH機器の音楽再生を停止してから、本機とBLUETOOTH機器を接続してください。

ワンタッチで接続して音楽を聞く(NFC)

NFCとは、携帯電話やICタグなど、さまざまな機器間で近距離無線通信を行うための技術です。NFC対応スマートフォンを本機にタッチするだけで、自動的に本機の電源が入り、ペアリング(機器登録)、BLUETOOTH接続が行われます。あらかじめ、スマートフォンのNFC機能をオンにして、画面のロックを解除してください。

1 スマートフォンを本機のN-Markにタッチする。

スマートフォンが反応するまでタッチし続けてください。スマートフォン側のタッチ位置については、お使いのスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。



スマートフォンの画面の指示に従って接続を完了してください。

(BLUETOOTH) ランプが点滅から点灯に変わったら、本機とスマートフォンが接続された状態になります。

2 接続が完了したら、スマートフォンで音楽を再生する。

接続を切断するには、スマートフォンで本機のN-Markにもう一度タッチします。

ちょっと一言

本機とのBLUETOOTH接続時に、他のNFC対応スマートフォンを本機にタッチすると、タッチしたスマートフォンとの接続に切り換わります。

無線LANに接続してワイ ヤレスで聞く

ネットワークへの接続方法 を選ぶ

本機をネットワークに接続すると、本機の楽しみ
かたがさらに広がります。

接続方法は、お使いのネットワーク環境によって
異なります。以下の接続方法の中から、使用環
境に合った方法を選んで接続してください。

ちょっと一言

固定IPアドレスを設定する場合は、「パソコンから接続
する」(17ページ)の手順6の画面で行ってください。

ご注意

無線LANと有線LANを同時に接続することはできま
せん。無線ネットワーク接続するときは、本機から必ず
ネットワーク(LAN)ケーブルを取りはずしてください。

スマートフォン／iPhoneから接続するには

スマートフォン／iPhoneに専用アプリSongPal
をダウンロードして使います。詳しくは、別冊の
「無線LANスタートガイド」をご覧ください。

WPSボタン(AOSS、らくらく無線スタート) のある無線LANルーターを使用して接続す るには

WPSボタンを使って接続します。詳しくは、別冊
の「無線LANスタートガイド」をご覧ください。

パソコンから接続するには

「パソコンから接続する」(16ページ)をご覧
ください。

有線LANで接続するには

▶詳しくはヘルプガイドをご覧ください
<http://rd1.sony.net/help/speaker/srs-x77/ja/>



パソコンから接続する

お使いの無線LANルーターにWPS(AOSS、らく
らく無線スタート)ボタンがない場合の、本機と
パソコンをネットワーク(LAN)ケーブルでつな
いで設定する方法です。

あらかじめ、市販のネットワーク(LAN)ケーブル
をご用意ください。

ちょっと一言

無線LANを設定するには、SSID(無線ネットワーク名)
と暗号化キー(WEPまたはWPA)が必要です。暗号化
キー(またはネットワークキー)とは、相互に通信できる
機器を限定するための暗号鍵です。無線LANルーター
やアクセスポイントを介した機器間の通信を、より安全
に行うために使われます。

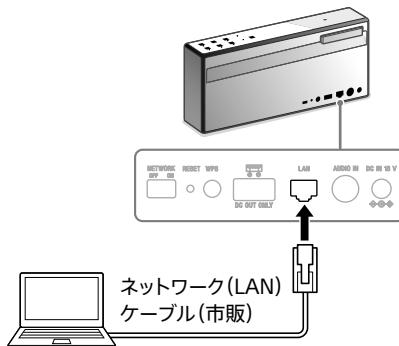
1 無線LANルーターのSSIDとパスワード (暗号化キー)を以下に書き写す。

詳しくはお使いの無線LANルーターの取扱
説明書をご覧ください。

SSID:

パスワード:

2 本機とパソコンを直接、市販のネット ワーク(LAN)ケーブルで接続する。



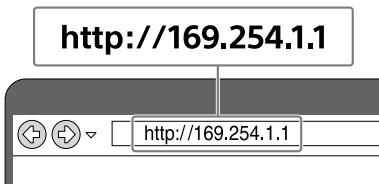
3 本機後面のNETWORK OFF/ONスイッチをONにしてから、I/O(電源)ボタンを押して、本機の電源を入れる。
LINKランプが点滅からピンク色の点灯に変わるまで、約1分間お待ちください。

ちょっと一言

ご購入後に初めて接続するときなど、ピンク色の点灯に変わるまで、約2分間お待ちください。

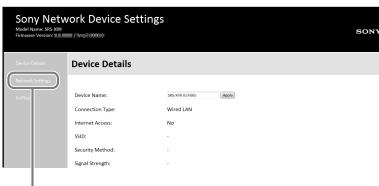
4 パソコンで[Sony Network Device Settings]画面を表示する。

- ① ブラウザー(Internet Explorerなど)を起動する。
- ② 下記のURLをアドレスバーに入力する。



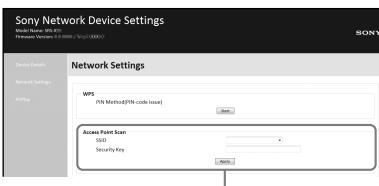
上記はパソコンと本機をネットワーク(LAN)ケーブルで接続した場合のURLです。

5 メニューから[Network Settings]を選択。



Network Settings

6 無線LANルーターのSSIDを選び、パスワード(暗号化キー)を入力する。



SSID

手順1を確認して入力してください。

7 [Apply]を選択。

8 パソコンの画面に従ってネットワーク(LAN)ケーブルを抜く。

9 LINKランプがオレンジ色に点灯していることを確認する。

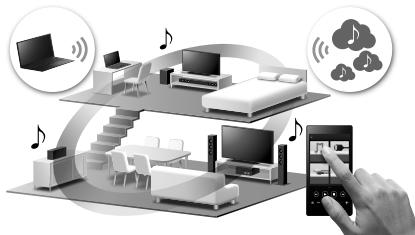
本機のアンテナを立ててください(11ページ)。

LINKランプがオレンジ色に点灯したら無線LAN接続は完了です。

点灯するまで1分以上かかる場合があります。

本機で音楽を聞く方法については、別冊の「無線LANスタートガイド」をご覧ください。

複数のスピーカーで同じ音楽を聞く(SongPal Link機能)



ご家庭のWi-Fiネットワークを利用して、ネットワークサービスの音楽や、パソコンやスマートフォンに保存した音楽をさまざまな部屋で高音質で楽しめます。

- 1** お手持ちのスマートフォン／iPhoneに無料アプリSongPalをダウンロードする。
- 2** 本機とスマートフォン／iPhoneを同じSSID(ネットワーク)の無線LANルーターに接続する。
- 3** 複数機器を接続する場合は、SongPal Link対応機器を無線LANに接続する。

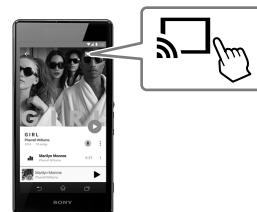
▶詳しい操作はヘルプガイドをご覧ください
<http://rd1.sony.net/help/speaker/srs-x77/ja/>



ミュージックサービスに接続して音楽を聞く

本機をインターネットに接続すると、インターネットラジオなどのミュージックサービスを楽しめます。Google Castに対応したミュージックサービス対応アプリを、別途ダウンロードする必要があります。

- 1** お手持ちのスマートフォン／iPhoneに無料アプリSongPalをダウンロードする。
- 2** 本機とスマートフォン／iPhoneを同じSSID(ネットワーク)の無線LANルーターに接続する。
- 3** SongPalを起動し、Google Cast対応アプリをダウンロードする。
 - ① SongPalを起動して[SRS-X77]をタッチし、[設定]→[Google Cast]→[キャスト方法]の順にタッチする。
 - ② 使用方法とGoogle Cast対応アプリを確認し、アプリをダウンロードする。
- 4** Google Cast対応アプリを起動し、キャストアイコンをタッチして、[SRS-X77]を選ぶ。



- 5** Google Cast対応アプリで音楽を選び再生する。

本機で音楽が再生されます。

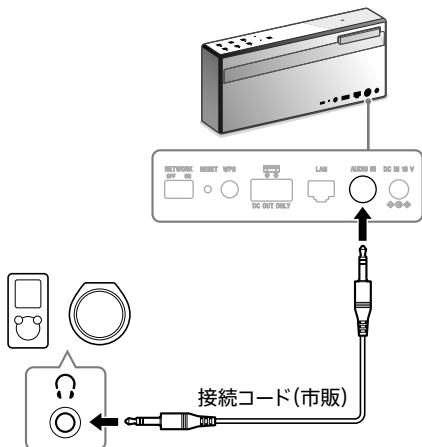
▶詳しい操作はヘルプガイドをご覧ください
<http://rd1.sony.net/help/speaker/srs-x77/ja/>



その他の音楽を聞く

外部機器を接続して音楽を聞く

その他の音楽を聞く



- 1 AUDIO IN端子に、市販の接続コード（ステレオミニプラグ↔→ステレオミニプラグ、抵抗なし^{*1}）でポータブルオーディオ機器などを接続する。

*1 抵抗入りの接続コードを使用すると、音量が小さくなることがありますので、抵抗なしの接続コードをご使用ください。

- 2 本機をAUDIO INモードにして、接続した機器側で再生する。

▶詳しい操作はヘルプガイドをご覧ください
<http://rd1.sony.net/help/speaker/srs-x77/ja/>



その他

困ったときは

修理を依頼する前に、もう一度下記の項目をチェックしてみてください。

- この「困ったときは」をチェックし、該当する項目を調べる。
- ヘルプガイドで調べる。
▶ 詳しくはヘルプガイドの「使いかた」や「よくある質問」をご覧ください。

<http://rd1.sony.net/help/speaker/srs-x77/ja/>



- 「アクティブスピーカーサポート」のホームページで調べる。
<http://www.sony.jp/support/active-speaker/>
 - ACアダプターに接続して、本機を充電する。充電することで問題が解決することがあります。
 - 本機後面のRESETボタンをピンなど先の細いもので押してください。その後、本機の電源を入れ直してください。
- それでも解決しない場合、ソニーの相談窓口(26ページ)までお問い合わせください。

BLUETOOTH

ペアリング(機器登録)できない、 SongPal設定時に、本機とスマートフォン／ iPhoneをBLUETOOTH接続できない

- 本機とBLUETOOTH機器の距離を1m以内に近づけてください。
- 本機の❶(BLUETOOTH)ランプが速く点滅していないなら、❶(BLUETOOTH) - PAIRINGボタンを、本機からピピッという音が聞こえて、❶(BLUETOOTH)ランプが白色に速く点滅はじめるまでタッチしたままにしてください。
- 本機をACアダプターに接続するか、充電池を充分に充電してください。
- 本機を初期化すると、iPhone/iPad/iPodやパソコンと接続できなくなる場合があります。この場合は、iPhone/iPad/iPodやパソコン側の本機の登録情報をいったん削除して、ペアリングをやり直してください。

ワンタッチ接続(NFC)できない

- スマートフォンが反応するまで本機のN-Markに近づけたままにして、反応しない場合は、スマートフォンをゆっくり前後左右に動かしてください。スマートフォンが反応したら、スマートフォンの画面の指示に従って接続を完了してください。
- スマートフォンのNFC機能がオンになっているか確認してください。
- スマートフォンにケースを付けている場合は、ケースをはずしてください。
- NFCの受信感度は、お使いのスマートフォンによって異なります。接続に何度も失敗する場合は、スマートフォンのお手元操作で接続／切断してください。
- 「アクティブスピーカーサポート」のホームページで対応機種をご確認ください。

音が出ない

- パソコンと接続しているとき、パソコンの音声出力先はBLUETOOTHになっていますか？
- 本機とBLUETOOTH機器がBLUETOOTH接続されていることを確認してください。
- BLUETOOTH機器と本機をもう一度ペアリングしてください。

音が割れる、ノイズが出る、音が途切れる

- 本機をBLUETOOTH機器に近づけてください。障害物があいだにあるときは移動してください。
- BLUETOOTHオーディオストリーミングの再生品質を「接続優先」にしてください。

ネットワーク

無線LANに接続できない

- 本機はIEEE 802.11acには対応していません。2.4GHz帯(11b, 11g, 11n)または5 GHz帯(11a, 11n)で接続してください。
- スマートフォン／iPhoneのSongPalを使って本機の無線LANを設定するときは、あらかじめ、スマートフォン／iPhoneをご使用になる無線LANに接続してください。
- ネットワーク(LAN)ケーブルを本機に接続している場合は、取りはずして本機の電源を入れ直してください。ネットワーク(LAN)ケーブルが接続されていると、有線LANが優先され、無線LANはご使用になれません。
- お使いの無線LANルーターの電源が入っていますか？

- 無線LANルーターを本機に近づけてください。電子レンジやBLUETOOTH機器、デジタルコードレス機器など、使用周波数が2.4 GHz帯の機器は接続できない原因になる場合があります。機器と本機とを離すか、機器の電源を切ってください。
- 無線LANアンテナを立てていますか？
- 正しく設定しても接続できない場合は、以下をお試しください。
 - アクセスポイント(無線LANルーター)の電源をいったん切ってしばらく待ち、再び電源を入れる。
 - 本機の電源をいったん切ってしばらく待ち、再び電源を入れる。

音が割れる、ノイズが出る、音が途切れる

- 接続先の機器の音量は大きすぎませんか？
- 接続先の機器のイコライザー機能はオフになっていますか？
- 電子レンジやその他の無線LAN機器などから離してください。
- 本機を金属で囲まないでください。金属部からは離してください。
- 無線LANではなく、市販のネットワーク(LAN)ケーブルで本機とルーター、パソコンなどの機器を接続してください。

音が出ない、音が小さい

- 接続先の機器と本機の電源は入っていますか？
- 接続先の機器と本機の音量は小さすぎませんか？
- 接続先の機器で再生されていますか？

パソコンのiTunesから本機を見つからない

- iTunesがインストールされたパソコンが、本機が接続されているホームネットワークに接続されていることを確認してください。
- iTunesを最新のバージョンにアップデートしてください。

共通

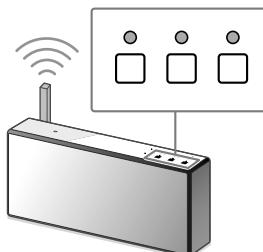
I/Off(電源)ランプが赤く点滅する

- 本機がプロテクトモードになっている、もしくは、ソフトウェアのアップデートに失敗しています。以下を確認してください。
 - UPDATEボタンがオレンジ色で点滅し続けている。ソフトウェアのアップデートに失敗しています。USBメモリーを使ったアップデートを実行してください。USBメモリーを使用したアップデートは「アクティビスピーカーサポート」のホームページをご確認ください。<http://www.sony.jp/support/active-speaker/> アップデートを実行するまで、本機の電源は切ったままにしておいてください。
 - I/Off電源ボタンを押しても、本機の電源が切れない。本機がプロテクトモードになっています。ピンなどの先端の細いもので本機背面のRESETボタンを押してから、電源を入れ直してください。それでもI/Off(電源)ランプが点滅し続ける場合は、ソニーの相談窓口(26ページ)またはお買い上げ店にご相談ください。

気がつくとスタンバイモード、またはBLUETOOTH/ネットワークスタンバイモードになっている

- オートスタンバイ機能によって無操作かつ無音の状態が15分経過すると、自動的にスタンバイモードまたはBLUETOOTH/ネットワークスタンバイモードに移行します。オートスタンバイ機能について詳しくはヘルプガイドをご覧ください。

無線LANの電波強度(受信感度)を調べるには
無線LANに接続中に、NETWORKボタンをピピッとという音が聞こえるまでタッチしたままにする。



電波強度	強い	3 ● ● ●
	2	● ● ○ ○
	1	● ○ ○ ○
	0	○ ○ ○ ○
	弱い	

本機のいずれかのボタンをタッチすると、点滅は解除されます。

電波強度を強くするには下記をお試しください。

- ・アンテナの向きを変える
- ・その他の無線LAN機器を停止する

BLUETOOTH／ネットワークスタンバイ機能を使うには

BLUETOOTH／ネットワークスタンバイ機能をオンにすると、本機の電源が切れているときでも、ホームネットワーク上にある機器やBLUETOOTH機器から操作して、本機の電源を入れることができます。通常よりも本機を早く起動できて便利です。

1 ACアダプターを本機とコンセントにつないだ状態で、本機の電源を入れる。

2 I/（電源）ランプがオレンジ色に点灯するまで、I/（電源）ボタンを押し続ける。

本機の電源が切れて、BLUETOOTH／ネットワークスタンバイモードになります。ネットワーク接続機器から、またはBLUETOOTH機器から本機に接続しようとすると、本機の電源が自動的に入ります。

本機を初期化するには

「困ったときは」の該当項目をチェックしても正常に動作しないときや、設定に失敗したときは、本機を初期化してお買い上げ時の状態に戻してください。

1 本機の電源が入っている状態で、VOL(音量)-ボタンとI/（電源）ボタンを同時に5秒以上押し続ける。本機の電源が切れます。設定が工場出荷時に戻り、すべてのBLUETOOTHペアリング情報とネットワーク設定が削除されます。

ご注意

本機を初期化すると、iPhone/iPad/iPodやパソコンと接続できなくなる場合があります。この場合は、iPhone/iPad/iPodやパソコン側の本機の登録情報をいったん削除してペアリングをやり直してください。

▶ 上記以外の症状についてはヘルプガイドをご覧ください

<http://rd1.sony.net/help/speaker/srs-x77/ja/>



無線LAN機能について

本製品内蔵の無線LAN機能はWFA(Wi-Fi Alliance)で規定された「WPA/WPA2、WPS」について認証取得しています。

無線の周波数について

本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上の注意

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- 1 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または本製品の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
- 3 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

2.4DS/OF4

この無線製品は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

5 GHz機器使用上の注意事項

- ・本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。
 - W52(5.2 GHz帯/36, 40, 44, 48ch)
 - W53(5.3 GHz帯/52, 56, 60, 64ch)
 - W56(5.6 GHz帯/100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch)

IEEE802.11b/g/n			
IEEE802.11a/n			
J52	W52	W53	W56

- ・5 GHzワイヤレスLAN機器の屋外使用は法令により禁止されています。

BLUETOOTH機器について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること

周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、次の事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。ソニーの相談窓口については、本取扱説明書(26ページ)をご覧ください。

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、干渉距離は10 mです。

2.4 F H 1

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、干渉距離は10 mです。

BLUETOOTH無線技術について

BLUETOOTH® 無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ10 m程度までの距離で通信を行うことができます。必要に応じて2つの機器をつなげて使うのが一般的な使いかたですが、1つの機器に同時に複数の機器をつなげて使うこともあります。

無線技術によってUSBのように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。

BLUETOOTH標準規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中のさまざまなメーカーの製品で採用されています。

BLUETOOTH機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したもので、本機は下記のBLUETOOTHバージョンとプロファイルに対応しています。

対応BLUETOOTHバージョン:

BLUETOOTH標準規格Ver. 3.0準拠

対応BLUETOOTHプロファイル:

- A2DP(Advanced Audio Distribution Profile): 高音質な音楽コンテンツを送受信する。
- AVRCP(Audio Video Remote Control Profile): 音量の大小を操作する。

通信有効範囲

見通し距離で約10 m以内で使用してください。以下の状況においては、通信有効範囲が短くなることがあります。

- BLUETOOTH接続している機器の間に、人体や金属、壁などの障害物がある場合
- 無線LANが構築されている場所
- 電子レンジを使用中の周辺
- その他の電磁波が発生している場所

他機器からの影響

BLUETOOTH機器と無線LAN(IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯(2.4 GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近傍で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本機とBLUETOOTH機器を接続するときは、無線LANから10 m以上離れたところで行う。
- 10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、干渉距離は10 mです。

他機器への影響

BLUETOOTH 機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBLUETOOTH機器の電源を切ってください。

- 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど
引火性ガスの発生する場所
- 自動ドアや火災報知機の近く

ご注意

- BLUETOOTH機能を使うには、相手側BLUETOOTH機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、BLUETOOTH機器の仕様により機能が異なる場合があります。
- BLUETOOTH無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて、本機側での再生がわずかに遅れます。
- 本機は、BLUETOOTH 無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティが充分でない場合があります。BLUETOOTH無線通信を行う際はご注意ください。
- BLUETOOTH 技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機と接続するBLUETOOTH機器は、BLUETOOTH SIG の定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、BLUETOOTH標準規格に適合していても、BLUETOOTH機器の特性や仕様によつては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 本機と接続するBLUETOOTH機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。

主な仕様

スピーカー部

使用スピーカー

フルレンジスピーカー: 約46 mm(直径) × 2
サブウーファー: 約62 mm(直径) × 1

アンプ部

実用最大出力

ACアダプター駆動時:

10 W + 10 W(フルレンジスピーカー、全高調歪率1%、1 kHz、8 Ω)
20 W(サブウーファー、全高調歪率1%、100 Hz、4 Ω)

バッテリー駆動時:

6 W + 6 W(フルレンジスピーカー、全高調歪率1%、1 kHz、8 Ω)
12 W(サブウーファー、全高調歪率1%、100 Hz、4 Ω)

ネットワーク部

通信方式

IEEE 802.11 a/b/g/n(WEP 64 bit、WEP 128 bit、WPA/WPA2-PSK (AES)、WPA/WPA2-PSK (TKIP))

使用周波数帯域

2.4/5 GHz帯

BLUETOOTH部

出力

BLUETOOTH標準規格Power Class 2

最大通信距離

見通し距離約10 m^{*1}

使用周波数帯域

2.4 GHz 帯(2.4000 GHz ~2.4835 GHz)

通信方式

BLUETOOTH標準規格Ver.3.0

対応BLUETOOTHプロファイル^{*2}

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)

AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)

対応コーデック^{*3}

SBC^{*4}

AAC^{*5}

LDAC^{*6}

対応コンテンツ保護

SCMS-T方式

伝送帯域(A2DP)

20 Hz～20,000 Hz(44.1 kHzサンプリング時)

^{*1} 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わることがあります。

^{*2} BLUETOOTH プロファイルとは、BLUETOOTH 機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

^{*3} 音声圧縮変換方式のこと

^{*4} Subband Codecの略

^{*5} Advanced Audio Codingの略

^{*6} LDACは、ソニーが開発したハイレゾ音源をBLUETOOTH経由でも伝送可能とする音声圧縮技術です。SBC等の既存BLUETOOTH向け圧縮技術とは異なり、ハイレゾ音源を低い周波数・低いビット数へダウンコンバートすることなく処理します^{*7}。また極めて効率的な符号化やパケット配分の最適化を施すことで、従来技術比約3倍^{*8}のデータ量の送信を可能とし、これまでにない高音質のBLUETOOTH無線伝送を実現しています。

^{*7} DSDフォーマットは除く。

^{*8} 990 kbps(96/48 kHz)または909 kbps(88.2/44.1 kHz)のビットレートを選択した場合のSBC(Subband Coding)との比較。

^{*1} 充電池持続時間は、当社既定の音源を使用し、BLUETOOTH機器の音量を最大で送信し、本機の音量を7に設定した場合の再生時間です。

NETWORK OFF/ONスイッチOFF時:本機の音量を最大で使用した場合は、約80%電池持続時間が短くなります。

NETWORK OFF/ONスイッチON時:本機の音量を最大で使用した場合は、約50%電池持続時間が短くなります。

使用温度範囲

5 °C～35 °C

最大外形寸法(幅×高さ×奥行き、最大突起部およびコントロール部含む)

約300 mm × 132 mm × 60 mm

質量

約1.9 kg

付属品

電源コード(1)

ACアダプター(1)

無線LANスタートガイド(1)

「製品登録」のおすすめ(1)

取扱説明書・保証書(本書)(1)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

その他

AUDIO IN(外部入力)端子

Ø3.5 mmステレオミニジャック

LAN端子

10BASE-T/100BASE-TX(自動極性制御)

DC OUT

USB端子 Aタイプ、接続機器の充電用(5 V、最大1.5 A:本機の底面に表示しています。)

電源

DC 18 V(付属のACアダプターを接続してAC 100 V～240 V、50 Hz/60 Hz電源から使用)、内蔵リチウムイオン電池を使用

消費電力(ACアダプター使用時)

30 W(内蔵電池および接続機器充電中)

13 W(内蔵電池および接続機器を充電していないとき)

約5 W(待機時、BLUETOOTH/ネットワークスタンバイ機能オン)

約0.3 W(待機時、BLUETOOTH/ネットワークスタンバイ機能オフ)

充電池持続時間(NETWORK OFF/ONスイッチ:OFF時)^{*1}

約10時間

充電池持続時間(NETWORK OFF/ONスイッチ:ON時)^{*1}

約3時間

本機で使用できるiPhone/iPad/iPodについて

対応モデル	AirPlay	BLUETOOTH®
iPhone 6 Plus	○	○
iPhone 6	○	○
iPhone 5s	○	○
iPhone 5c	○	○
iPhone 5	○	○
iPhone 4s	○	○
iPhone 4	○	○
iPhone 3GS	○	○
iPad Air 2*	○	○
iPad mini 3*	○	○
iPad Air*	○	○
iPad mini 2*	○	○
iPad (第4世代) *	○	○
iPad mini*	○	○
iPad (第3世代) *	○	○
iPad 2*	○	○
iPad*	○	○
iPod touch (第5世代)	○	○
iPod touch (第4世代)	○	○
iPod touch (第3世代) *	○	○
iPod nano (第7世代) *		○

2015年1月現在

* SongPallはiPod touch(第3世代)とiPod nanoには対応しておりません。SongPallは、2015年1月現在、iPad画面に最適化された表示には対応していません。

AirPlayは、iOS 4.3.3以降を搭載したiPhone、iPad、およびiPod touch、またはOS X Mountain Lion以降を搭載したMac、およびiTunes 10.2.2以降を搭載したMac、パソコンに対応しています。

ご注意

本機につないだiPhone/iPad/iPodを使用中に、iPhone/iPad/iPodに保存されたデータが消失、破損しても、弊社では一切責任を負いません。

保証書とアフターサービス

保証書

- 本書には、保証書が印刷されています(裏表紙)。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、またはソニーの相談窓口(下記)にご相談ください。修理をご依頼の際は、付属の電源コード、ACアダプターを本体と一緒にお持ちください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間にについて

当社ではパーソナルオーディオシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他的事情により、修理に代えて新品交換をする場合がありますのでご了承ください。

お問い合わせの前に

もう一度下記の項目をチェックしてみてください。

- 「困ったときは」で調べる(20ページ)。
- ACアダプターに接続して、本機を充電する。充電することで問題が解決することがあります。
- 本機のRESETボタンを押す(11ページ)。

型名:SRS-X77

モデル名、シリアルナンバー(製造番号)は、本体の底面に記載されています。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル

.....0120-333-020

携帯電話・PHS一部のIP電話

.....050-3754-9577

修理相談窓口

フリーダイヤル

.....0120-222-330

携帯電話・PHS一部のIP電話

.....050-3754-9599

※取扱説明書・リモコン等の購入相談は
こちらへお問い合わせください。

FAX(共通) 0120-333-389

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に

「309」+「#」

を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

保証書

持込修理

品名	パーソナルオーディオシステム
型名	SRS-X77
お買上げ日	平成・西暦 年 月 日

本書は、本書記載内容(下記記載)で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、お客様欄にご記入の上、修理をお申付けください。

ソニー特約店

お問合せ先：修理相談窓口

フリーダイヤル：0120-222-330

携帯電話・PHS・一部のIP電話からは、050-3754-9599

ホームページ：<http://www.sony.jp/support/>

ソニーマーケティング株式会社 東京都港区港南1-7-1 〒108-0075

保証期間	お買上げの日から	1年
お客様住所	電話	- -
お名前	様	

無料修理規定

- 正常な使用状態で保証期間内に製品(ハードウェア)が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別(出張修理、持込修理、引取修理)をご確認の上、以下の要領でご依頼および本書(再発行しませんので、大切に保管してください)の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口の種類は、(1)お買上げのお店、(2)お近くのソニーサービスステーション、(3)本書に記載の修理相談窓口の3種類です。

種別	受付窓口	保証書の提示・提出	注意事項
出張修理	(1)(2)(3)	出張修理担当者が訪問した際に提示	※1
持込修理	(1)(2)	持参した製品の修理依頼の際に提示	※2
引取修理	(3)	製品の引取時に指定業者へ提出	

※1 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理となる場合、出張費用(実費)を申し受けます。

※2 (1)(2)へのご依頼が難しい場合は、(3)にご相談ください。

- お客様のご要望により、出張修理の種別について引取修理を、持込修理の種別について出張修理・引取修理を、引取修理の種別について出張修理を行う場合は、別途所定の料金を申し受けます。

- 保証期間内の故障でも次の場合は有料となります。

- (1)本書のご提示がない場合 (2)本書にお買上げ日およびソニー特約店の記載がない場合は本書の記載を書き換えた場合 (3)保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合 (4)使用上の誤り(取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む)による故障・損傷 (5)他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷 (6)お買上げ後の移設、輸送、落下などによる故障・損傷 (7)火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧などによる故障・損傷 (8)業務用など一般家庭用以外での使用による故障・損傷 (9)消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換

- 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

- 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。

- 本書に基づく無料修理(製品交換を含む)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。

- 故障によりお買上げの製品を使用できなかことによる損害については補償いたしません。

- 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。

- 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理メモ

*本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

*保証期間後の修理については、取扱説明書等をご覧ください。 T02-4



* 4 5 7 0 6 1 7 0 2 * (1)